

I. 調査の概要

1. 調査目的

大阪府では、男女共同参画社会の実現に向けて、平成14年4月に「大阪府男女共同参画推進条例」を制定するとともに、平成13年以降、5年ごとに「おおさか男女共同参画プラン」を策定し、施策を推進してきた。

その後、社会情勢の変化の中で、男女の意識や行動がどのように変化してきているのかを明らかにし、今後の施策推進の参考とするために、本調査を行うものである。

2. 調査項目

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| (1) 男女の地位の平等について | (6) 「仕事」「家庭や地域活動」「個人生活」の
関わり方について |
| (2) 男女の役割分担について | |
| (3) 家庭生活について | (7) ドメスティック・バイオレンスについて |
| (4) 介護について | (8) 性暴力・性犯罪について |
| (5) 職業生活について | (9) 男女共同参画に関する用語の認知度 |
| | (10) 男女共同参画社会の推進に向けて |

3. 調査設計

- | | |
|----------|----------------------------------|
| (1) 調査地域 | 大阪府内全域 |
| (2) 調査対象 | 満18歳以上の男女府民 |
| (3) 標本数 | 2,800 |
| (4) 抽出台帳 | 住民基本台帳 |
| (5) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法及び等間隔抽出法 |
| (6) 調査方法 | 配布は郵送方式、回収は郵送方式及びWEB方式（回答者による選択） |
| (7) 調査時期 | 令和元年8月8日～8月23日 |
| (8) 調査機関 | 株式会社 フューチャー・コミュニケーションズ |

4. 調査標本数及び回収数

- | | |
|-----------|----------------|
| (1) 標本数 | 2,800 (100.0%) |
| (2) 有効回収数 | 897 (32.0%) |

【調査標本数及び回収数】

地域区分	標本数	有効回収数	有効回収率
大阪市	874	267	30.5
三島	350	118	33.7
豊能	211	80	37.9
北河内	366	105	28.7
中河内	262	88	33.6
南河内	193	62	32.1
泉北	366	114	31.1
泉南	178	58	32.6
不明	0	5	-
計	2800	897	32.0

(注) 標本数2,800票に対する回収数(率)は、900票(32.1%)であったが、記入不備等を除き、調査結果には897票(32.0%)を有効回収標本として集計した。

5. 調査地域区分



【当該市町村】

大阪市－大阪市

三島－吹田市・高槻市・茨木市・
摂津市・島本町

豊能－豊中市・池田市・箕面市・
豊能町・能勢町

北河内－守口市・枚方市・寝屋川市・
大東市・門真市・四條畷市・
交野市

中河内－八尾市・柏原市・東大阪市

南河内－富田林市・河内長野市・松原市・
羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・
太子町・河南町・千早赤阪村

泉北－堺市・泉大津市・和泉市・
高石市・忠岡町

泉南－岸和田市・貝塚市・泉佐野市・
泉南市・阪南市・熊取町・
田尻町・岬町

6. サンプルデザイン

- (1) 母集団 大阪府に居住する満18歳以上の男女府民
- (2) 標本数 2,800
- (3) 標本配分 住民基本台帳登録者数の人口比により按分した。
- (4) 抽出方法
 - ア 層化二段無作為抽出方法（住民基本台帳からの抽出者）
 - (ア) 標本数 2,800
 - (イ) 地点数 226
 - (ウ) 層化（調査地点を抽出する際、類似の性格をもった地点をあらかじめグループに分け、その中から抽出を行う。このグループ分けを「層化」という。）
 - a 大阪府の市町村を、次の8地域に分類した。（5. 調査地域区分を参照のこと）
（大阪市・三島・豊能・北河内・中河内・南河内・泉北・泉南）
 - b 各地域については、「人口100万以上の市」「人口30万以上100万未満の市」「人口20万以上30万未満の市」「人口10万以上20万未満の市」「人口10万未満の市」「郡部」と、人口規模別に分類し、それぞれを層とした。
 - (エ) 標本数の配分
各層における推定母集団の規模により、2,800の標本を男女等分に配分した。
 - (オ) 抽出方法（まず、国勢調査の調査区「調査地点」を無作為に抽出し、次に住民基本台帳から個人を抽出する。抽出手続きが二段になるので「二段抽出」という。）
 - a 1次抽出単位となる調査地点として、町字を使用した。
 - b 調査地点（町字）の抽出数については、1調査地点あたりの標本数が8~13程度になるように、各層に割当てられた標本数から算出して決めた。
 - c 調査地点（町字）の抽出は、
$$\frac{\text{層における満18歳以上人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間}$$
を算出し、等間隔抽出法によって当該人数番目のものが含まれる基本単位区を抽出し、抽出の起点とした。
 - d 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成31年4月1日時点における総務省指定の市町村コードの順序に従った。
 - e 第2次抽出単位となる対象者の抽出は、調査地点（町・丁目）内から、住民基本台帳によって等間隔抽出法で抽出した。
 - f 層化に割当てられた標本数が男女ほぼ等分になるように抽出した。
 - g 以上の作業の結果得られた地域別の標本数・地点数は次のとおりである。

【標本割当計画】

地域区分	人口規模別	標本数	女	男	地点数	推定母集団
大阪市	100万以上の市	874	437	437	67	2,286,477
三島	30万～100万未満	226	113	113	18	590,714
	20万～30万未満	86	43	43	7	226,237
	10万未満	28	14	14	3	70,015
	郡部	10	5	5	1	24,765
豊能	30万～100万未満	126	63	63	10	330,901
	10万～20万未満	75	38	37	6	195,224
	郡部	10	5	5	1	27,005
北河内	30万～100万未満	126	63	63	10	330,611
	20万～30万未満	75	37	38	6	195,757
	10万～20万未満	124	62	62	10	325,367
	10万未満	41	21	20	4	108,068
中河内	30万～100万未満	156	78	78	12	409,604
	20万～30万未満	84	42	42	7	220,345
	10万未満	22	11	11	2	58,148
南河内	10万～20万未満	144	72	72	12	377,557
	10万未満	38	19	19	3	100,634
	郡部	11	5	6	1	28,747
泉北	30万～100万未満	263	132	131	21	688,433
	10万～20万未満	57	28	29	5	148,380
	10万未満	41	21	20	4	108,043
	郡部	5	2	3	1	14,095
泉南	10万～20万未満	93	47	46	8	242,727
	10万未満	64	32	32	5	166,895
	郡部	21	10	11	2	56,102
合 計		2,800	1,400	1,400	226	7,330,851

7. 報告書の見方

- (1) 回答は各設問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0% を上下することがある。
- (2) 複数回答を依頼した質問では、回答比率の合計が 100.0% を超える。

8. 標本誤差

本調査の主な標本誤差の幅は次のとおりである。

層化二段抽出、信頼度 95% の場合

$$\text{標本誤差} \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{p(100-p)}{n}}$$

N = 母集団
n = 基数 (有効回答数)
p = 回答率 (%)

ただし、 $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$